



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三条北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会長：金子太一郎

幹事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP:<http://www.sajo-nrc.org>

AD : north@sanjo-nrc.org

本日の行事：卓話「自衛隊の災害派遣」

- ◆本日の出席：66名中35名
- ◆先々週の出席率：66名中55名 83.33%
(前年同期 87.69%)
- ◆本日のゲスト：
自衛隊新潟地方協力本部
本部長 石井 一将 様
二層 磯野 一行 様
- ◆本日のオブザーバー 米山奨学生
ゴンザレス ロドリゲス. ジョナタン君
- ◆先週のメイクアップ：(敬称略)
2月4日米山奨学委員長セミナー
福岡信行、吉田文彦

* 本日の配布書類等

- ・週報 No.1439
- ・ロータリーの友2月号
- ・三条RC60周年式典案内 (出欠確認)
- ・抜粋のつどり76
- ・月信8号 (閲覧)

会長挨拶：岡田 健副会長



皆さん、こんにちは。

久しぶりに代理の挨拶です。

どんな話をすれば良いのか考えまして、新年ですので年賀状のことを少しお話ししようと思います。

去年の12月始め頃、年賀状を書き始めました。文章二つ三つ書きましたがまとまりません。と申しますのは、去年の世相が暗すぎて文全体が暗くなりすぎました。そこで新たな文面を諦め、一昨年の方のままに決めました。年賀状はそれで終わったのですが、暗い事ばかりでは困ってしまう、何か明るい事はないのかと考えました。なかなか出てきません。1月に家内と小千谷へ、蕎麦を食べに行きました。小千谷は三条より雪が深く、道路の両側の雪の壁は車の高さより高かったです。それを見てこれは大事な資源だなと思い当たりました。全世界は温暖化や砂漠化です。真水が不足しています。今後更に進み深刻な状況になると考えられ、水は貴重な資源になるであろうと思われます。現在の最重要戦略資源は石油と思われませんが、次世代のそれは真水になるであろうと考えられます。幸い日本は、この水に非常に恵まれた地域に存在しています。世界的に見て、これだけ恵まれた地域は稀です。ヨーロッパのメキシコ湾流に接する地域、北米の南岸、中米地域、インドアッサム周辺、オーストラリア東岸、ほとんどそれ以外は深刻な水不足になると考えられます。中国、中央アジア、インド中部、アフリカ、アメリカ中西部は特に大変になると思われます。日本の水と農業が脚光を浴びる未来が来ると期待しています。



奨学金贈与

幹事報告：佐藤秀一幹事



- ・ロータリーの友事務所より ロータリー手帳お買い上げのお願い
1冊600円 申し込み表を回しますのご記入下さい。
- ・長久の家より 餅つき大会協力のお礼 が届いています
- ・三条RC60周年式典の出欠表を回します。多数のご出席をお願いします。
4月15日(土) ジオワールドVIP
- ・東京RC熊平会員より 抜粋のつづり76 恵送について

地区大会案内 第2560地区ローターアクト代表 川越健矢様 (三条RAC)



ローターアクトの地区大会を3月25日(土)12:00～ジオワールドVIPにて開催します。

ロータリアンの皆様にも是非参加して頂きたいと思い、お願いに伺いました。

ロータリーの友3月号でローターアクトの特集が掲載されます。そこに私も寄稿させて頂きましたのでご覧頂きたいと思います。

地区大会に一人でも多くのロータリアンの方からご出席頂き、ローターアクトを知って頂き、会員をご紹介頂ければ幸いです。貴重なお時間を頂きありがとうございました。

*****ロータリー財団ボックス7日現在累計267,000円*****

佐藤 弘志君 石井様ご苦労様です。

本間建雄美君 財団BOXに協力

早川 瀧雄君 //



*****米山奨学ボックス7日現在累計353,000円*****

澁岡 茂君 福岡委員長に協力。今年初めての東北・北海道の旅へ出掛けます。
皆さんお元気で

渡辺 徹君 協力します

丸山 勝君 //

福岡 信行君 2/4 米山奨学セミナーに次年度委員長の吉田さんと参加して参りました。
もう少し頑張ります



*****ニコニコボックス7日現在累計529,000円*****

笹原 壯玄君 本成寺節分行事は天候に恵まれ大盛況裡に終わることができました。皆様のご支援に感謝いたします。

佐藤 秀一君 本日も卓話楽しみです。

渋谷 義徳君 自衛隊新潟地方協力本部長石井一将様、卓話ありがとうございます。宜しくお願い申し上げます。

石川 友意君 石井本部長を歓迎して、卓話ありがとうございます。

森 宏君 先週末、学会で九州小倉と博多に行って来ました。学会が終わった後の昼酒がうまかった。

樋口 勤君 ニコニコBOXに協力

土田百合子君 来週、誕生日なのでまた肝臓を酷使しそうです。

本日は途中退席させて頂きます。

* 1月のコメント賞は森 宏会員です。



本日の行事：卓話 自衛隊新潟地方協力本部長 石井一将様



講師紹介：渋谷義徳プログラム委員

最近多い災害で自衛隊の活動が、報道されておりますので、お話しを聞いて見たいと思い、知り合いの弟さんで、新発田で広報関係の自衛官をやっておられる方から連絡先等をお聞きし、直接お願いしたところ、快くお引き受け頂き今日、卓話をして頂く事になりました。

石井様は富山県出身、防衛大学卒業で現在は一等陸佐でいらっしゃいます。

他ロータリークラブでの卓話も何回かして頂いているようです。本日は宜しくお願いいたします。



「自衛隊の災害派遣」

新潟県には高田と新発田に部隊があります。新潟地方本部は県庁の近くの合同庁舎に入っています。県内で自衛隊を理解して貰うための活動も行なっています。

新潟県の大震災

昭和39年新潟地震 2m程の津波もあり、大変な被害を受けた記憶があります。平成16年新潟中越地震 震度7死者40名という大きな災害でした。先ず新潟の部隊が対応しましたが、この時初めて全国から部隊が集まりました。

最大1日4000

名以上の隊員が活動しました。

以前は全国から部隊を集中するという計画はありませんでした。平成7年の阪神淡路大震災を契機として、東海地震、首都直下地震など、全国から部隊を集める必要があるだろうという事で計画整備をし、16年においてはこの計画を準用して全国から集められました。

平成19年の中越沖地震 このときも全国から集まり最大1日3700名が活動しました。

水害 昭和42年羽越水害 平成10年新潟市街が水没 平成16年新潟福島豪雨、三条も大きな被害が起きました。平成23年新潟福島豪雨 新潟は地震、水害もありますので備えが必要だと思っています。

自衛隊の災害派遣活動の全般

平成27年災害派遣に541回出て居ります。大体500件を越える活動して居ります。

緊急患者空輸 離島からの空輸が一番多い

自然災害 風水害、火山噴火、山林火災、雪害

特殊災害 北海道豊浜トンネル陥没、東海村臨界事故、鳥インフルエンザ、地下鉄サリン事件、重油流出事故など これに自衛隊がと思われたかもしれませんが出ております。

自衛隊の災害活動

- 行政による派遣活動 災害派遣という表示をしての移動は高速道路無料、警察に誘導されて優先的に被災地に入れる。都道府県の許可の下、公園を集結地に使用する。派遣要請する事ができるのは都道府県知事、受ける事ができるのは新潟であれば、新発田駐屯地、高田駐屯地のそれぞれの指令2名のみです。市町村の場合は知事に要請する。駐屯地で派遣依頼を受けた時に自分たちだけでは対応できない、全国の、又は海上、航空の力が必要となった場合は指揮系統で大部隊が集まってきます。
- 自主派遣 直ぐに人命救助しなければいけない(飛行機事故等)又、地震などの時に要請はないけれども状況把握のために小規模な派遣となります。

陸上自衛隊の活動状況

期区分	第1期(3日)	第2期(約2ヶ月)
期間	10/23~25	10/26~12/21
活動区分	人命救助	生活支援等
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人員の捜索・救助活動 ○ 避難支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食支援 ○ 給水支援 ○ 入浴支援 ○ 医療支援 ○ 輸送支援 ○ 天幕支援 ○ 仮設支援(倒壊家屋の処理支援)
部隊編成	甲信越地区所在部隊	甲信越地区所在部隊 全国からの生活支援機能部隊の一部 給食支援隊 入浴支援隊 給水支援隊 天幕支援隊
派遣人員	延べ約3,600名	延べ約112,400名 1日最大:4,067名

要請がなければ、大きな部隊の活動はできません。

・近傍派遣 戦後消防車が少ない時に駐屯地の消防車が近傍に火災があったら出動したことから。災害派遣の3要件 自衛隊は税金で活動しています。私的、営利、単独企業に対しての派遣はできません。

1.公共性：公共の秩序を維持するため、人命・財産を社会的に保護しなければならない必要があること。

平成7年鳥インフルエンザが初めて京都で発生 一養鶏場の支援になるのではないかと大問題になりましたが、自衛隊法に防疫があり、その観点から現在は口蹄疫と鳥インフルエンザについては派遣対象となっています。

瓦礫除去等は落ち着いてくると一般業者も参加しますので、自衛隊としての引き際も重要になります。

2. 緊急性：災害の状況から、直ちに対処しなければならない状況であること。

3. 非代替性：他の機関では対処不能もしくは能力が十分でなく自衛隊で対処する必要があること。緊急の患者搬送等は消防でもできますが、悪天候等の場合は自衛隊機が必要となります。

特に3つ目の非代替性については、民需を圧迫する恐れがある場合が考えられ、慎重な判断が必要である。

ファストフォース（自然災害時の初動対処部隊）を組織し、24時間待機しています。

命令があれば1時間以内に出動できる部隊を駐屯地毎に集めて全国で3800名程待機しています。海上、航空に於いても速攻性を補助しています。

小部隊ですが早く出て現場の状況を確認、部隊が進出する為の道路等の確認等、大部隊がスムーズに活動する為の偵察をする。

阪神淡路大震災の教訓を踏まえて、しっかり体制を作ってきました。

新潟県は陸上は高田と新発田、航空自衛隊は佐渡のカメラレーダー、新潟の救難隊、海上自衛隊は新潟西港で、船の岸壁接岸の支援などしています。

27年度までは大きな災害がありませんでしたので新潟の部隊は東日本大震災、伊豆大島土砂災害、雲仙普賢岳等に派遣しております。

航空救難隊については26年度に能登沖でタンカーが座礁した時に救援に行っています。

28年度は熊本地震での捜索、道路警戒、物資輸送等を行ないました。

4月14日21:26に発生22:40に知事から派遣要請がありましたが、自衛隊としては22:02ファストフォースとして陸海空それぞれ出動し、偵察してその夜から1700名が活動しています。新潟の部隊は本震が4月16日夜中1:25に発生5:00に非常呼集がかかり全員登庁、高田は九州へ、新発田は農相サミット等のため、待機となりました。

オスプレイも救難物資を運んで、喜ばれました。

隊員は子ども達からの「ありがとう」という手紙を貰って疲れを忘れしました。

読売新聞の記事ですが「自衛隊は重機が取り扱える隊員の数が多い、消防は救出する技術が高い、警察は被災者から情報を聞き出すことが得意」しかし私から言わせれば自衛隊は、いろんな救援活動から医療、通信、物資輸送、心のケア等、機能が多くニーズに応える力があります。

それを最適に運用できる組織力があります。

近年、新潟県所在部隊が派遣された災害



H23. 11東日本大震災に従事する
2普連隊員(いわき)



H25. 10伊豆大島災害に従事する
30普連隊員



H26. 9御嶽山噴火災害派遣に
従事する2・30普連隊員



H26. 11能登沖災害派遣で救出に
あたる空自新潟救難隊へリ

災害派遣における自衛隊、警察、消防の違い

読売新聞28.5.24「熊本地震関連記事」

- 【自衛隊】 重機の取り扱い優れ、隊員の数が多い
- 【消防】 救助技術が高い
- 【警察】 被災者から情報を聞き出す力がある

【自衛隊】

自己完結型組織＝**様々な機能を保有し、運用できる**
 例) 捜索、救助・救援、道路啓開、給水・給食、入浴、医療、
 物資輸送 等

- ☆ 様々な機能 ⇒ 様々なニーズに対応
- ☆ 組織力(様々な機能の運用) ⇒ 状況に即した対応

になり、空からの消火活動はできませんでした。

私は防災・災害の時には必ず行っています。

阪神淡路大震災の時に生き埋めになった者を救助した人達の自助、共助、公助の割合

自助+共助=97.5% 公助は 2.5% 家族での助け合い、町内会・地域での助け合いが命を救うという事です。

災害の備え (1/2)



防災の基本は、「自助」です。まずは自分を守ることに
 より、家族や友人・隣人を助けに行くことができる、「共助」のベースになるから
 です。

事前・事後の公的な対応をひとまとめにして「公助」といいます。

最後に自衛隊についてお願いをさせていただきます。

法案等で騒がれていますが、自衛隊は危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、国民の負託にこたえる。

国民のリスクを避けるために負荷を負うのは自衛官という覚悟を持って国内外で任務に就いております事をご理解頂き、自衛隊が活動

していらっしゃいましたらご声援頂ければ、と思っております。
 又、こういった志を持って頑張ろうという若い人がいたら是非、隊員募集もやっております。
 加茂にも募集事務所がありますのでご連絡頂きたいと思っております。
 本日はどうもありがとうございました。



2016～2017年度 国際ロータリー第2560地区ローターアクト
第47回 地区大会



開催日：平成29年3月25日(土)

会場：ジオ・ワールドVIP

(新潟県三条市旭町2-8-57)

*** どちらも参加ご希望の方は事務局までご連絡下さい。**

(三条RC60周年につきましては例会時に出欠確認しました)



地域と共に60年 愛と感謝をこめて
世界につながるの輪を作りましょう

創立60周年記念式典のご案内

謹啓 寒冷の候、皆様におかれましてはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私ども三条ロータリークラブは本年創立60周年を迎えます。このような節目の年を迎えることが出来たのも、皆様方の温かいご指導とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、下記のとおり記念式典及び祝賀会を開催致します。

ご多用のこととは存じますが、多数のご出席を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

— 式典のご案内 —

日時	平成29年 4月15日(土)
登録受付	12:00～13:00
記念式典	13:00～14:00
記念公演	14:15～15:00

宝生流 祝言能「高砂」シテ 川瀬隆士

笛 藤田貴寛 小鼓 住駒充彦 大鼓 飯島六之佐 太鼓 麦谷暁夫

地謡 渡邊荀之助 島村明宏 渡邊茂人 高橋憲正

解説 渡邊荀之助 (重要無形文化財総合指定保持者) 敬称略

祝賀会 15:20～17:00

会場	ジオ・ワールドVIP グランドホール
	(三条市旭町2-8-57 TEL:0256-35-1143)